婦人と新社會

山田わか主筆

二月號

◈ 御成婚を祝す

◈ 文明の三大基礎

—政治的—

—經濟的—

—敎育的—

◈ 大正十三年の婦人

指導者に對する希望

◈ 思想界の流言蜚語

—編輯の後—

每月一回一日發行　第四十七號　大正十三年二月一日發行

大正十三年一月廿三日印刷納本

東京　婦人と新社會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御成婚を祝す

幸福に結び付けられてゐる夫婦は周圍の者を輝し、温かにする最大なる、そして、最も美しい光りであるとされてゐます。

けれども、曾て、或る先覺者が云つたように、空氣の素成要素の二つなる窒素酸と素は其れが別々に一つでゐては空氣でないと同じく、幸福な夫婦の愛は其の愛の素成要素なる肉感でも同情でもなく、其の二つが合して始めて完全なる愛が成立するのです。又心靈の融合も確かに愛を永續せしむべき重要なる要素ではありますが、單なる友人關係にはそれのみにて充分でも、夫婦の愛のためには其れだけでは不充分です。

偉大なる愛は一異性の肉的要求が他の異性の心靈に對する熱望と全く合致した時に生じます。そして、それは火の如きものであつて熱すれば熱する程純粋となり白光化して來ます。

攝政宮良子女王兩殿下の御成婚を祝し、お二方によつて構成される榮ある光りに我々七千萬同胞が永久に浴し得ることを祈ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文明の三大基礎

政治的――經濟的――敎育的

一

あの大地震のあつた當時、及び其の後暫くの間、人は少くとも東京及び其の他の罹災地に住んで居た者は皆一樣に私共の生活に一大革命期が來たように感じました。あの震災を堺として全然新しい生活が始まるかのやうに考へて、震災前の出來事は其れがたつた一日前の出來事でも古い〳〵昔の異つた時代の出來事であつたかのように感じて、それ等の事柄に付いて話し合つたりすることは時代錯誤であるかのようにさへ感じて居ました。

けれども、それは、突然餘りに大きな衝擊を受けた結果造り出された一時の幻想であつたと云ふことは日を經るに從つて明かになつて來ました。そして、それはさもあるべきことなのです。なぜなら、震災當時は人は皆我が帝都其のものが全然潰滅したかのように感じて居たのに反して、潰滅

したものは唯單にかたちに現れた帝都だけであつて、帝都を建設する人間及び、其の人間に宿つてゐる精神が潰滅したのではありません。又萬をもつて數ふる人命が失はれたからと云つて其れは落命した人に直接關係ある人々の心に悲しみの傷の跡を大きく殘したゞけで一般人とは無關係で勿論氣の毒であつたと云ふ同情の念は深かつたとしても其れが生活に變化を起す程の影響は及ぼしません。まるで何事も無かつたかのような顏をして一般人は以前の通りの生活を送つて居ます。

其の有樣は丁度、大海が大きな船や多くの人間を其のふところに呑んでしまつて、そして、以前と少しも變りのない姿をして居るのと同じです。

殊に、全國民の共通財產、先人が野蠻狀態から徐々と獲得し、發達させて來た知力的道德的收穫の總高には何等の增減がありません。

かたちに現れた我が帝都は潰滅しても、帝都を建設しようとする精神、及び我が日本民族の知力的道德的遺產は減じて居ないと同じように、それ等の遺產を受け繼ぐことを拒まれて無知無學で居る婦人達の浮薄な傾向も少しも少くなつては居りません。あの當時は「女性生活の革命」がどうとか或ひは「此の天譴」をどうとか大分名論卓說があちこちにあつたようですが、併し私は『もし此の災

害によつて一般婦人の不合理な奢侈が廢せられるものならば、日本全國の富の二割を灰燼に歸し十萬の生命を失つても猶ほ其の犠牲を高いとはしないと云つて居りましたが、夢の如く帝都其のものが復興の緒にも付かないうちに婦人の奢侈の風は盛んに擡頭しつゝあります。

我が帝都に大事變があつたからと云つて、決して日本全國がひツくりかへつたのでもなく、無知であつた我が國婦人が急に聰明になつたわけでもないのですから全體としての我が國婦人は外に飛び出して騒ぐよりもまだ〳〵大いに修養の時代にあることを私は切に感じてゐます。

と云つても、今は修養の時代であり、此の次は修養を必要としない時代になると云ふのではなく恐らくば、此の世が始まつて以來此の世の終り迄必要なものであります。けれども、凡ての點に於て設備に於ては我が國が外國に後れて居り、その上に女子が男子に劣つて居る以上は、其の後れて居り劣つて居るだけ努力によつて補ひ、ともかくも、平均した水準の上に立ち得るようになるのが急務です。

實に私共婦人は長い間、人類の生活の眞髓となるべき知力的道德的遺産を受けつぐべき特權を拒まれてゐました、そして、其處にあらゆる禍患が巣くうことになりました。それ等の遺産の相續者

としての資格の養成、それを養成し得る機會獲得の要求こそ差し當り最大重要なものであります。

二

一體、今日の政治が醜體を極めて居ると云ふことは周知の事實ですがこれは何を意味するものでありませう。政治を基礎とする文明が其の終りに近かづきつゝある、則ち、今日の文明に大變化が起ろうとする前兆ではないでせうか？　政治に基礎を置く文明、即ち、治者と被治者、他の言葉を以て云へば、政府と國民との關係にとつて代るべき或る關係が現れなければならないことの其れが前兆ではないでせうか？

治者被治者との關係で國家は久しい間治められて來ました。王國であれ共和國であれ、それは同じでありました。けれども、それだけではどうしても足りない、完全に國家が治まらないと云ふことが此の頃發見されました。

其處で、政治に基礎を置く文明にとつて代るべきものが今の處では二種あります。其一ツは經濟に基礎を置く文明であつて、もう一ツは教育に基礎を置く文明であります。そして前者の主張者は所謂社會主義的施設を設定して經濟に基礎を置く文明を建設しようとしますけれども、これはまだ

建設されないうちから既に其の缺點が暴露されて居ります。それでは到底滿足できないので、經濟をも包容する教育を基礎とする文明でなければならない。つまり、治者被治者との關係よりも教者被教者の關係が優勢にならなければならない。教者被教者の關係を優勢にして國民の質を優良にすることによつて社會の秩序は強固に保たれ、個人の幸福は増進すると云ふ意見が提唱されてありますが、私は全然それに共鳴するものであります。

此の教育第一と云ふ思想は既でにプラトーによつて強く把持されて居りました。教育の力によつて先人の知力的道徳的の總高を次代に傳へようとする事業程人類社會にとつて重要な事業はないし無限の年月の間に人類が通過して來た精神上の發達の過程を僅かの年月の間に少青年に通過させやうとする方法を設けることが國家にとつては最も重要な任務だとされてゐるのです。

プラトーの思潮は彼の『共和政體』に於て最高調に達してゐると云はれてゐますが其の『共和政體』に於て彼は政治を取り扱つてゐます。そして、政治の最高使命は教育問題だと云つてゐます。彼は經濟問題社會問題家庭問題及び家庭の社會的價値を論じて居ますが、併し、それ等の問題は、最高な完全な教育の標準を參照して決すべきもの、つまり、それ等の諸問題は第二義的乃至比較的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の問題であると斷じて居ます。

從つて、彼は教師たる者を一國のうちの最高の位置に置き其の最高な神聖な位置に價する迄嚴烈なる訓練を經た者でなければ教師の資格が無いとした。そして、國王の事業はそれ等の資格ある教師、つまり理想的眞、理想的善、理想的美を體得してゐる教師の力によつて國民の心が神に近くなる迄國民を敎導することであるとしてゐます。

云ひかへれば、政府が存在してゐる結果教育機關が存在してゐるのでなく、則ち、教育が政府の作用の一ツであると考へることの代りに教育のために政府が存在してゐなければならぬとプラトーは考へて居たのです。彼が老年に於て發表した國家論に於てゞすらも勿論その國家論は第二の理想別言すれば第二の最善なるものとしてのその國家論に於ても猶、彼は彼の教育第一と云ふ考へを捨てませんでした。教師が王位を得ることは出來なかつたが、併し、文部大臣が總理大臣であり、同時に、凡ての專門學校の總裁でありました。そして、其の役に就く人は凡ての點に於て一國のうちの最上の人、つまり、最善最美な最も賢明な人でなければならぬ、彼の役目程神聖な役目は國家のうちにないのでした。

社會は人間の心によつて造られて居るもの、そして、其の心の問題は敎育の問題でありますから其の心を充分に敎育して置くならばもの丶見方が正しくなる最善な敎育が禍を防護する最善な方法だとも云つてあります。

敎育と云ふことを廣い意味に取るならば裁判官が正しい判決を下すのも、國民として步むべき正しい道を敎へることになり、畫家が美しい繪を畫くのも、音樂家が微妙な音樂を奏するのも、建築家が調和のいゝ建物を建築するのも、國民の美的觀念を高尙にするでせう。其の外あらゆる娛樂、運動など皆國民敎育に資する處があります。けれども、其の敎育は學校に於て最も深く行はれます。國民を敎育する上に於ては矢張り學校が其の樞軸であります。

實に、國家が國民を敎育することによつて、云ひ直せば國民共通の敎養と云ふものがあつて、國民的思想、國民的道德と云ふ遺產が代々傳へられて來ました。人は誰でも生れた時には知力的に道德的に無一物であつても、社會に蓄へられてある其れ等の思想的道德的の遺產を與へられることによつて人間らしくなるのです。そして其の遺產は敎育の力によつて私共のものとなるのです。

三

前段に於て、不完全ながら教育第一の所以を申述べましたが、さて教者被教者の關係を優勢にしようとする策も要するに一ツの手段であること、私共はもう一歩進んで考へねばならぬものがあることをゆるがせにしてはなりません。教育は大切なものでありますが、と云つて教育は無から有を造り出すものではなく、教育をする材料が無ければなりません。つまり、教育は養ひであるが、其の向ふに生れと云ふことがあるのを忘れてはなりません。養ひに重きを置き過ぎて生れを忘れるならば何にもならない。云ひかへれば教育制度がどんなに完備しても婦人の心の置き處が間違つてゐるために優良な被教者を教者の手に提供しようとする意志が缺けて居るならば、折角の完備した教育制度も無駄になつてしまう。

ですから、私共は、教者被教者の關係を高調すると同時に猶ほ一層被教者の生れに付いて考へなければならない。教育に重きを置けば置く程、被教者の質を考へなければならない。して見ると最後の問題は國民の生れの問題に集中して來ます。

其處で、國民の生れの優良を期するための責任は何處にあるか？　主もに誰にあるか？　と云ふ

ことになります。國民の生れの優良を期する處は家庭であり、大部分の責任が婦人にあると云ふことは云はずもがなでありますが、其の大責任を帶びなければならない婦人が一國の知力的道德的遺産を受繼ぐことを抗まれて居たと云ふことは言語同斷なる不合理でありました。

國家に於けるあらゆる制度のうちで、敎育制度程大切なものはない、あらゆる他の制度は敎育制度を基準とし、それに準じて制定すべきだとプラトーは云つたのですが、其の敎育制度を有効に働かしむるには、其の敎育制度がとつて以てする材料が優良な者でなければならない、則ち被敎者が生理的に精神的に健全な者でなければならないのですから、其の被敎者則ち兒童の生理的精神的の健全を期すること程婦人の任務として重要な任務はない筈です。

國家の諸制度は敎育制度を基準としなければならぬと同じやうに婦人の生活は其の大任を基準としなければならない。それを基準として修養を積み、其れを基準として職業を選み、其れを基準として政權を(早晩其れが婦人の手に歸して時に)行使しなければならないものであると私は信じます。

大正十三年の婦人指導者に對する希望

一

機械の發明から來た經濟革命卽ち產業革命がなかつたならば婦人運動は實際的に有力な運動とはならなかつたかも知れません。けれども、猶婦人運動は歷史的には唯物的卽ち經濟的のものではなく理想主義から始まつたものであると私は考へてゐます。經濟的の衝動は偉大な勢力を婦人問題の上に行つたには相違ない。けれども、婦人運動の理想的標準には猶より多くの重要さを置かねばならない。經濟的の改良は男女關係の表面だけを變更して實際關係を根本的に變ずることは出來なかつたと云ふことは誰でもが知つてゐます。婦人が男子から離れ獨立の生計が出來ても、所謂經濟上の獨立が達せられても、それ以外の或る勢力が婦人側にないならば婦人は決して自由になれない。又、唯單に男子の正義觀念或は大量の結果のみでも婦人の自由は男子と平等になれない。正義の觀

念に强い大量な男子の存在を私は認めます。同時にそれ等の男子の數とは比較にならない程多數の男子が今猶野蠻時代の男子と同じ本能によつて動いて居ることも認めます。ですから、其の少數男子の大量も正義の觀念も一般婦人の位置を高く支へることは不可能です。そしてそれは男女兩性の倫理的心理的關係並びに經濟的關係に於ても同樣です。

要はかうです、有産者と無産者の階級別が政治上に於ては徹廢され經濟上の機會均等が實現しても事實に於ては腕力の强い者が弱い者を支配すると同じように、知者が無知者を支配するようになる、男子と女子の間も其の通りで政治上の權利が平等であり經濟上同じ立場にあつても、知力に於て女子が男子に劣るならば女子は矢張り被治者で男子が治者であると云ふ關係は依然として同じであります。

けれども、政治上の權利が平等であり、經濟上同等な立場にある上に、男子に劣らぬ知力の持主であつて始めて婦人は男子と平等な自由を享有することが出來る。

そして、今、猶、野蠻時代の男子と同じ情操を持つて動いてゐる男子達を制裁し、人として、及び、人類の母としての高尙な位置を確實に保つことが出來ます。併し、其の知識なるものがやゝも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すればたやすく感情的になると云ふ危險があることに對しても私共は警戒する必要があります。會て、キャノン、ゴーアは英國の勞働者に警告して「正義を求むる凡ての情熱はそれに知識が伴ふのでなかつたならば何ものをも爲しとげない。正義の情熱はあなた方を強くし雄辯家にし、そして、勝利者とし、否、一革命をも爲し遂げさせるかも知れない。けれども、もし、あなた方が知識の問題を特種階級の手に任して置くならば、その知識のために又あなた方は踏みつけられてしまう何となれば有知は常に無知を籠絡してしまう」と申しましたが是は私共婦人が大いに味はねばならない問題です。

我が國の婦人運動も稍活氣付いて來ましたが、併し、やうやく開けた氣運、折角咲いた花も、もし、其の根に絶へず知識と云ふ營養が送られずに、唯單に、感情でのみ動いて居たならば到底健實な果實を結び得ないものであることを私共は知らねばならないと思ひます。

感情は大切なものです。感情が無ければ仕事は出來ません。けれども、其の感情を適確に導く知識が無かつたならば有効な仕事は出來ない。婦人が獲得する知力の量の大小によつて、我が國の今後の婦人運動の運命は定まるものであると私な觀測して居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

小成に心を安んずると云ふことは成功の大敵でありますが、どうも我が國人には小成すると直ぐ高くとまつてしまうと云ふ悪いくせがあつて、在米日本人などには殊に其れが目立ちます。たとへば靴直し屋、又は、洋服直し屋など直し屋である間は非常に繁昌して忽ち小金がたまります。で、猶、其の直し屋を續けてゐるならば店はドン／＼榮て後に雄飛する基礎が出來るでせうに、小金がたまると直ぐ心が驕つて直し屋で滿足してゐることが出來ず、新しい荷を入れて店の改革を計ります。處で、新しい品物を賣る段になると、資金の點から、顧客に對する信用の點から、或ひは又、商業界の知識の點から、到底、白人同業者との競爭に耐へ切れるものではありません。そして、とても店は持ち切れなくなります。と云つて以前の直し屋に歸る勇氣はなく、止むなく其の土地を去ると云ふのが大抵の場合の結末です。

我が婦人界に於ても、其れと同樣の失敗を個人的にも團體的にも繰返し／＼して來ました。何かの機會に論文が一ツ二ツ書ければ直ぐに立派な評論家になつてしまうのですし小說が一ツ二ツ書ければ忽ち創作家になつてしまうし、四五人の婦人が集まつて何事かをするならば其の婦人達の結束

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

した力が天下をひつくり返すかのように取り沙汰されたりして居ました。それが世間を僞るものであり、本人達を誇大妄想家と爲し發達の芽を止めてしまつたと云ふ實例は餘りに澤山ありました。けれどもさう云ふ浮薄な風はあの大震のために揺り落とされて、今後は確實な地歩を踏みしめて行きたい。

社會的の如何なる暴風にも耐へ得る確固とした基礎を造つて行きたい。婦人運動が今稍調子づいて來たからと云つて、其れを上滑りのするものにしたくない。復興の第一年大正十三年は新たな第一歩を踏み出す年でありたいと私は切に念じて居ります。

今日の所謂婦人論者の大多數の主張をまとめて見ると、二ツの根本問題に歸してしまいます、即ち個人發達の意義と價値は何であるか？　と云ふことゝ、そして、其の發達の目的は何であるか？と云ふことです。そして、より幸福な生活へ、より高尚な發達への衝動は人間が優秀であればある程、より烈しく活動して居るものですが、其の衝動が進めば進む程男女兩性の客觀的價値が必要になり、個人發達の意義と價値、及び發達の目的が明かになつて來れば來る程男女の差別は明かになつて來ます。

正確な、狂ひのない處に出立して、絕えざる努力を積むことによつて始めて有益な仕事が出來るようになるのですが、今までの多くの若い婦人は、まだ、其の出立點さへも見付からない先に大家氣取りになつて、そして、發達の芽を止めてしまつて居ました。

野蠻時代の男子を動かしてゐた本能の力を其のまゝ受け繼いで動いてゐる野蠻人的な男子から自己を保護するために私共婦人は政治上の權利を持つてゐる必要があります。又、經濟上の力を所有して其の力によつて治者の位置を保つて居ようとする橫着者の支配を免れるために私共婦人は經濟的に優者の位置を占める必要もあります、けれども、政治上、經濟上、男子と平等な位置に立つても、もし、私共婦人の知力が男子に劣つてゐるならば、知らず〱の間に形式は何であれ、事實上又々被知者の位置に陷れられてしまうと云ふことは前にも云つて置きました。

要するに政治上及び經濟上の男女平等は末であり智力的實力が其の根本であること、感情の力は船を動かす火力で其火力ばかりでは船が山へ登つてしまう故に梶の方向を正確に定める知力が無ければならぬことを知つて私共婦人は大いに知力の獲得に努力したい。實際運動にたづさはつてゐる婦人達も知力の價値を無視することなく仕事と知力とを併行させて行つて頂きたい。大正十三年の婦

人界が知力を基礎とした確實な足取で進んで行くことを私は切に希望して居ます。

思想界の流言蜚語

大泥棒はいつも牢屋の外にゐて小泥棒ばかりが牢屋の中にゐます。

流言蜚語では隨分騷がされましたが、此の流言蜚語も矢張り泥棒の場合と同じく一地方の人心を動搖させるやうな小さい流言蜚語は直ちに取つて押へられ、それを口にしたものは嚴罰に處せられますが、併し、一國民に又は世界の人心に動搖を與へるやうな、大規模の流言蜚語はいつも見逃されてゐます。

流言蜚語が根無しごとを云ひふらす意味だとするならば、實に、それはあらゆる方面に散見されます。

たとへば、最大自由國が建設されたやうに云ひふらされた露國は事實に於ては最大不自由國であつたり、世界平和と云ふことが絶へず繰り返へされてゐても事實は至る處に戰爭が繼續してゐたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

華盛頓會議は世界の平和殊に東洋平和のための軍備縮少を協定したと云つて、實は米國の軍國主義を增長させたり、又は、日清戰爭以來の米人の日支離間策を助けたに過ぎない。勞働會議は勞働問題を解決すると宣言して、實は、何にもを解決しないのみならず、却つて、厄介なものを引きずり込んで來る、つまり、我が國には應用出來ないものを背負ひこんで來て困まつたりしてゐます。

そして、思想界に於ても、新しい哲學がどうだとか、新しい宗敎がどうしたとか、新しい經濟說新しい政治とかゞ盛んに宣傳されてゝ、事實は矢張り佛敎や基督敎を出てゐないし、プラトーやアダムスミス、又は、キヤントと云ふような處よりは進んでゐない。

藝術に於ても、新しい繪畫がどうのこうのと云つてもそれは恰かも暴錐ではないかと云ふ感がある。私には盡は分らないけれども少なくとも其れは見て氣持ちが惡い。新しい小說だと云つても大抵の場合以前のいんだらいかい小說の範圍を出てゐません。

其の外、每日々々新聞雜誌に出て來る新しいものと相像されてゐるものが所謂其の種類の流言蜚語であるように考へられることはおかしなことではありませんか?

編輯の後

一月十五日朝の再度の大地震で印刷所に大故障が起り其のために計らずも本號の發行が非常に遲延したことを又々皆樣に御詫びしなければなりません。

本號四頁に於て今日の政治が醜惡を極めてゐると云つて置きましたが其の醜惡が日に〳〵大きくなつて行くことは實際みじめです。殊に諸政黨のあの態度は何と云ふ醜さでせう。ツイ昨日迄は不倶戴天の敵であつたかと思へば今日は亦も漏らさぬ仲となる。政略のためには其の主義主張は猫の目のように變つて行く。そしてこう云ふことが結局惡思想を醸造してゐるのです。

中でも滑稽なのは所謂貴公子達の現內閣攻擊です。私共平民の立場からは政府者が貴族であらうがエタであらうが老人であらうが、若人であらうが、眞面目に賢く政治を取つて貰ひさへすれば文句はない。けれども、所謂貴公子達は貴族が表面に立つと國民の怨府となると仰有る。貴族が國民の怨府となるのは其の浮華輕佻なる生活であつて、國民の福利を思ふて眞面目に働いてゐる人々に對して　怨みを持つ程我が日本國民は非常識でないと私は信じてゐます。現に明治維新の偉業は貴族乃至準貴族によつて爲されてゐます。其の時の貴族の意氣を今の貴族も持つがよい。國民的思想が動搖して、國家的に非常な危機に際してゐる今小さな、つまらぬ階級別などに囚はれて居る時でないことを我が日本國民は覺悟しなければならないのです。

本誌臨時定價表

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	（送料共）

■誌代及郵稅は前金の事■御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと■郵券代用は五厘切手にて一割增■廣告は御照會次第御相談いたします

大正十三年一月廿三日印刷納本
大正十三年二月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京九三六八八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN